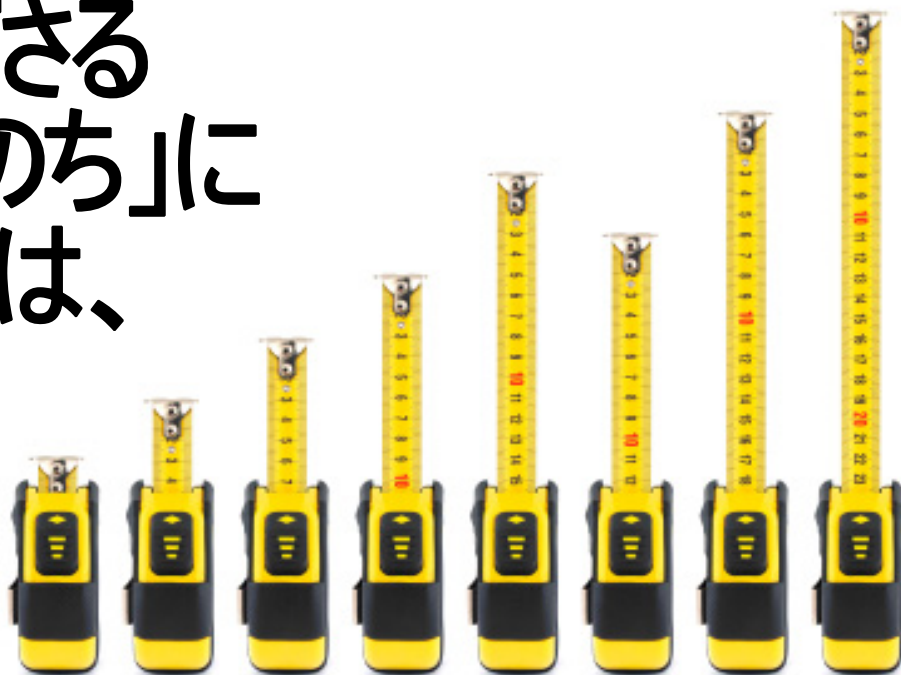


# 神さまがくださる 「永遠のいのち」に 必要なものは、 いったい、 何なの でしょうか？



## コロサイ書1:9~14

1:9 こういふわけで、私たちはそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。

1:10 また、主になつた歩みをして、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる善行のうちに実を結び、神を知る知識を増し加えられますように。

1:11 また、神の栄光ある権能に従い、あらゆる力をもって強くされて、忍耐と寛容を尽くし、

1:12 また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった父なる神に、喜びをもって感謝をささげることができますように。

1:13 神は、私たちが暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。

1:14 この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。

はじめに

きょうの箇所には、使徒パウロによって書かれた美しい祈りが書き残されています。パウロはコロサイ教会の人たちのために祈っていますが、彼はコロサイの人たちと出会ったことがありません。しかし、彼は、コロサイの教会が、今、キリスト自身やキリストによる救いのみわざを二の次にしてしまう、ニセの教えや考えによって惑わしを受けていることをよく知っています。コロサイの人たちはイエスさまよりも、むしろ、知識や目に見える従順な生き方に重点を置く生活の方が大切だと教えられてきました。もちろん、パウロ自身も知識や目に見える従順な生き方の大切さを語ってきました。しかし、パウロは、彼の祈りが語っているように、最も大切なものは、私たちが本当の成長と成熟に導く、知識と従順の源となるものだと言ったのです。パウロは、同時に、神さまによって準備

されているすべてのすばらしい祝福をいただくために必要なものは、ただひとつしかないということも語ってきました。聖書はこれらの祝福のことを、「相続分」(1:12)ということばで語っています。さて、神さまは私たちに、どのような相続分をそなえた「永遠のいのち」を与えてくださったのでしょうか？そのことを、きょう、学んでみたいと思うのです。

## 私たちが「永遠のいのち」にあずかるための資格は知識なのではないでしょうか？

(1:9)

神さまが私たちに与えてくださった「永遠のいのち」をいただくために必要なものは知識だけではありません。

あなたは知識や教育こそ、神さまからの祝福をいただくための

資格であると思っ  
ていませんか？救いの結果として、地位や評判、そして、知識あるいは富のようなものをいただくことができると思っ  
ている人々には、聖書のメッセージは愚かな教えのようにしか聞こえてこないのかもわかりません。聖書を学んでいるとき、みなさん

は、聖書が教えるすべてのことを完全に理解しない限り、イエスさまに従うことができないと感じたことがなかったでしょうか？しかし、私たちは、本来、神さまのみことばを完全に理解することなどできません。ですから、私達には、神さま御自身のことや神さまのみこころを知るためのものがが必要です。聖書は、「知恵こそ、大切なもの」と語っています。そして、聖書は、「主を恐れることこそ、知恵の始まりである」と、私達に語っています。主を恐れることとは、このお方を礼拝することや、このお方と個人的な関係に入ることを意味しています。また、それらに加え、神さまとともに、私達が神さまをよく知るようになっていく楽しい旅路の歩みも意味しています。神さまの御霊によって、信

徒はみこころを知る知識と御霊による知恵と理解とで満たされていくこととなるのです。



クリスチャンとして、私たちは御救いを与えてくださるキリストのみこころを超えて、成長するということは決してありません。私達には、福音こそ私達の必要を満たしてくれるものという新鮮な認識を日々持ち続けることが大切です。また、私達こそ、幼子のように神さまのご愛と恵みを必要としている者たちであると悟り、絶えず神さまのみもとに近寄っていく姿勢を失ってはいけません。健康な子どもが学びながら成長していくように、信者もそのように成長していきます。私達は霊的な知識をいただいて成長していくのですから、実際に、神さまに従い

ながら成長していくという結果があらわれてきます。知識と従順の両方は、私たちの心の中で

はたらく聖霊さまのみわざによって生まれてくるものなのです。聖霊さまは、深い理解を与え、神さまが私達のために何をしてくださったのかということをお教えてくださいませ。私たちの人生にはたらきかける神さまの恵みには、実に、不思議と思えるような事実が伴っています。それは、成長すればするほど、

私たちは、『もっと成長させていただけかねばならない』と、さらに強く思うようになるということなのです。

**「永遠のいのち」にあずかるための資格は、**

**私たちの生きる姿勢にあるのでしょうか？**

(1:10、11)



私たちが道徳的に正しい生活を送っていると思うような生き方が、私たちを「永遠のいのち」に導くものではありません。あなたは、あなた自身の正義こそが、神さまからの祝福をいただくための資格であると勘違いしていないでしょうか？たいいていの人は、自分に罪があることを認めています。しかし、大部分の人たちは、自分には悪なる部分よりも善なる部分の方が多いと思ったり、悪なるものよりも、善なるものの方が重きをなしていると信じ込んだりしています。ですから、『自分はクリスチャンになれるほど善良な人ではない・・・』と嘆くような人たちや、その反対に、『自分は、クリスチャンとして、十分に善良な人だ・・・』と高ぶるような人たちが世の中に多く見られるのです。この両者とも、実は、自己中心的な考えに立っています。このような思いを持っている人たちは、自分たちの中に、「永遠のいのち」にあずかることのできる資格があると勘違いしています。つまり、このような人たちは、神さまを追い出し、自分本位で、「永遠のいのち」を考えています。それなら、私たちが「永遠のいのち」にあずかるために必要な本当の資格は、いったい、何なのでしょう

か？それは、私たちの内にあるものではありません。むしろ、それは神さまがお持ちなのです。

クリスチャンの人でさえ、キリストが私たちにとっていかに必要なお方であるのかと言うことを見落としてしまうことがよくあります。そのようなことが起こると、私たちは、キリストが私たちのために成し遂げてくださったことよりも、むしろ、私たちが築き上げてきた功績の方に目を向けてしまうこととなってしまいます。私たちは、確かに、有能で、偉大なことを成し遂げてきたのかもわかりません。また、私たちの知識や従順な生き方は非常に



大きなものを生み出してきたのかもわかりません。しかし、私たちの行いが、愛、喜び、平和、忍耐、寛容、親切、自制という実を結ばせる聖霊さまによるものでないなら、それは不完全どころか、破壊的なものでしかあり

ません(1コリント書13章)。御霊による知識と賜物をいただいても、それが豊かな実を結ばないならば、それはまったく無意味なものでしかありません。賜物だけでは罪や自己中心から自分を守ることもできません。ところが、御霊が結ばせてくださる実とは、私たちを日々、神さまともに歩ませ、悔い改めと信仰に導きます。ですから、罪や自己中心というものを、御霊の実が追い出してしまうのです。

神さまは御自身の力を私たちに与えてくださいます。ですから、私たちは主にふさわしい生活を送り、すべてにおいて神さまに喜んでいただくようになります。そして、神さまは私たちに良いはたらきをなすための果実までも結ばせてくださいます。神さまはこのような恵みの実を結ばせるため、御自身を心から信じる人たちの中や、そのような人たちを通して、はたらきかけてこられるのです。

**私たちは救われることによって、「永遠のいのち」をいただけます！**

**(1:12~14)**

みなさんは、テレビ・ドラマなどで劇的な救出シーンを見たことがあるでしょう。救出が必要なのは、だいたい、すべての望みを失ってしまった状態にある人たちです。外からの助けがない限り、そのような人たちには自分を助け出すことができません。阪神と東北大震災のときには、多くの人たちが家やビルの瓦礫の下に埋められてしまいました。そんな瓦礫の中から救い出されるためには、外からの助けが

無くてはなりません。彼ら自身では、まったく、どうすることもできなかったのです。

神さまによる救いの計画は、御自身のひとり子をこの世に送り、私たち人間にはできない正しく、義なる生き方を、このお方にさせることにありました。しかも、その神さまのひとり子は、私たちが受けなければならない罪の罰を背負い、身代わりとなって死んでまでくださいました。ところが、それだけでは終わらず

に、そのお方は死人のうちからよみがえり、栄光に満ちた、救いのみわざまでも成し遂げてくださいました。神さまによる救いの計画は完全で、そのすべては、このキリストが成し遂げてくださいった上に成り立っています。



す。イエスキリストのいのちと死とよみがえりによって、神さまの律法は完全に守り通されたことになりました。言い換えれば、私たちが「永遠のいのち」にあずかるためには、私たちがイエスキリストによって救われなければならないということになるのです。

キリストを通して、偉大な救いのみわざが成し遂げられました！神さまは、そむきや罪の罰から、私たち人間を救ってくださいます。

神さまは、御自身から永遠に離れていこうとしている人たちを見捨てず、救い出そうとしてくださっています。

神さまは、身代わりとして成し遂げてくださいったキリスト御自身による救いのみわざによって、人々を救い出してくださいます。

御救いは、神さまから私たちに差し出されたものです。イエスキリストが成し遂げてくださいったことを信じる個人的な信仰を通して、罪の赦しと贖いが有効となります。私たちに差し出されているすばらしい霊的な相続分は、キリストが成し遂げてくださいった功績によって確かなものとして保証されているのです。

相続分は贈り物です。クリスチャンの人は、その人たちのためにキリストが成し遂げてくださいったものすべてを相続します！彼らはキリストとともに相続する人へとしていただきますから、永遠に変わることはない確かなものを手に入れることが保証されています。このように、彼らは、そのようなキリストのはたらきのために何のお手伝いもしません。キリストにある相続分は、すべて、キリスト御自身が代表者として成し遂げてくださいったおはたらきの上に成り立っているのです。

神さまからいただく祝福は、永

遠に有効な相続分です。このすべては、神さまが愛しておられる御子の王国に招き入れていただいた人たちに分け与えられます。それらはすべて、神さまによって救われた人たちのために与えられたものです。それはすべて、神さまのあわれみと恵みによる祝福です。だからこそ、私たちは、神さまへの喜びと感謝で満ちあふれることとなるのです。

感謝を神さまに捧げるに十分な理由があります。身代わりとなって、キリストに死んでいた人たちには、キリスト御自身のいのちが宿っています。そのことに無関心でいることは

まったくの無礼にあたります。クリスチャンの人たち、もし、私たちを愛してくださるがゆえに、成し遂げてくださったキリストに感謝を感じていないのなら、私たちはどのような動機を持って、愛ある行動や神さまへの奉仕を捧げることができるのでしょうか？ 私たちの熱心はキリストの愛によって得られ、そして、維持されていることを覚えておこうではありませんか。あなたは、毎日、キリストにおいて示されている神さまのご愛を思っているのでしょうか？ そのようなことも思い

浮かべながら、神さまへの感謝な日々を送ることも私たちには必要なのではないのでしょうか。

何年も前の話しですが、アメリカの五大湖のひとつで、旅行中の客船が座礁してしまうという事故が起きました。その事故のとき、救助隊員の中のある人は、氷で覆われた寒い湖の中から17人の乗客を救いました。ところ

らず」ということになってしまうのではないのでしょうか。

まだ、イエスさまを信じていない人たちのために申し上げますが、あなたは神さまから離れ、まったく、孤立と絶望の中に立たされていると言うことを感じているのでしょうか？ 救われなければならないのは、あなた自身である、ということに気づいている

のでしょうか？ 神さまが差し出してくださっている御救いのために、私たちが出来ることは何ひとつありません。私たちは、神さまのあわれみと恵みに拠り頼むしかないので、あわれみと恵みに



が、その日の彼の特別な努力は、結局、永遠に彼の健康をそこなわせてしまう結果を導くこととなってしまいました。数年後、彼が死んだとき、彼が救い出した17人のうち、だれひとりも、彼に感謝を述べに来た人がいないという事実が告げられました。なんと言うことでしょうか。しかし、イエスさまによって罪と滅びから救い出していただいた人たちが、もし、そのように無礼な態度でイエスさまと接しているのなら、そのような人たちの人生は、「感謝知らず、恩知

満ちたイエスさまを、心から信じようではありませんか。

聖書は、「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」(ヨハネ1:12)と語っています。

神さまの子どもとは、霊的な知識と神さまの知恵で満たされている人のことです。

神さまの子どもとは、神さまと

もに歩んで、成長している人のことです。そのような人たちは、神さまは何をお喜びになるのかと、言うことを学んで、知っています。

神さまの子どもとは、永遠に変わることはない、すばらしい相続分をキリストとともにあずかる人のことです(ローマ書8:16)。

神さまからの永遠の相続分を、私たちに分け合うことができるのは、ただイエスさまだけです。

私たちも、御救いをこのお方に求めることができますように。

霊的な知恵を与え、神さまが喜んでくださる従順な生き方に導きながら成長させてくださるイエスさまを仰ぎ見続けることができる私たちとなりますように。

祈り

お祈りしましょう。

愛する天の父なる神さま、罪びとを救うため、あなたの側から御手を差し出してくださっていることを感謝いたします。

あなたのみことばは、私たちの本当の姿を教えてくださいます。

私たちが、自分の足り無さと不適切さのすべてに気づくようにお助けください。

あなたのみことばは、イエスさまの本当のお姿も語っています。

私たちの必要のすべてを満たしてくださるイエスさまに感謝いた

します。

このお方こそ、私たちが完全に救い出すことのできる、愛に満ちた救い主です。

私たちがキリストにお導きください。霊的な知識と理解を深めることができるように、私たちを助けてください。

日常生活の中で、従順な姿を築き上げながら成長していけるように、私たちを助けてください。

あなたのみことばを知り、それを理解することができるように、私たちをお助けください。

私たちがあなたの御霊によって良い実を結ぶことができますように。忍耐においても成長できる私たちとなりますように。

キリストによって確かなものとされている「永遠のいのち」をありがとうございます。

この祈りをイエスさまのお名前によってお祈りいたします。

アーメン。